

地 理

I 領土問題に関する次の文をよく読んで、[1]～[6]の問いに答えよ。

国家は、これまで幾度となく戦争や紛争を繰り返してきた。20世紀前半の2度にわたる世界大戦はもちろんのこと、その後の冷戦と呼ばれる資本主義国と社会主義国の対立した状況下においても、そして近年においてすら、国家間の争いは終息することがない。こうしたなかで、国家が獲得もしくは保持することを目指してきたものの1つに、領土がある。国家の主権がおよぶ領域は、陸地部分の領土、一般に [A] 潮時の海岸線から12海里（約 [イ] km）の範囲で設定される領海、領土・領海の上空にある領空から成っている。このように、領土は領域の基軸となるものであり、国家にとって重要なのである。

領土をめぐる争いは、しばしば民族に関する問題と関係している。たとえば、多民族国家であった [B] は、スロベニア共和国をはじめとする6つの共和国と2つの自治州が連合して成り立っている [C] 国家であったが、民族間の対立を背景に、1992年に解体している。この争いは、[D] 人とクロアチア人が対立したクロアチアや、[D] 人とクロアチア人およびムスリム人（ムスリムで構成される民族）が対立したボスニア・ヘルツェゴビナのように、激しい民族間の紛争をともなっていた。さらに、天然資源の領有をめぐる対立も、領土問題の原因となる場合がある。南シナ海にある [E] 群島（スプラトリ諸島）は、周辺海域における海底油田やガス田の存在が明らかになるなかで、その領有権を主張する周辺諸国の間で、対立が強まっている。

日本の領土は、2018年現在で約 [ロ] 万 km² であり、北端が択捉島、東端が [F] 島、西端が [G] 島、南端が沖ノ鳥島となっている。多くの島々からなる日本は、領土の約 [ハ] 倍にのぼる広大な排他的経済水域を有している。この日本においても、領土問題は大きな課題となっている。その1つに北方領土問題がある。日本は、19 [ニ] 年に署名された「日本国との平和条約（サンフランシスコ平和条約）」で樺太の一部と千島列島の領有権を放棄したが、北方領土の4島については日本固有の領土であるとしており、そこを占拠するロシアに返還を求めて

いる。その他の問題としては **H** 県に属する竹島に関するものがあり、同島を占拠している韓国に対して、日本は抗議している。なお、東シナ海にある **I** 諸島は、中国がその領有権を主張しているが、日本はそこが歴史的にも国際法上も日本固有の領土であるとしている。

[1] 文中の **A** ～ **I** に当てはまる最も適切な語句または地名を答えよ。

[2] 文中の **イ** ～ **ニ** に当てはまる最も適切な数値を、次の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選び、符号で答えよ。

- ㉔ 10 ㉕ 22 ㉖ 38 ㉗ 45 ㉘ 51
㉙ 64 ㉚ 72 ㉛ 83 ㉜ 99

[3] 下線部(a)に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 1949年にアメリカ合衆国とカナダ、そして西ヨーロッパ諸国が結成した軍事同盟は何と呼ばれるか、最も適切な略称をアルファベットで答えよ。

(2) 1955年にソ連と東ヨーロッパ諸国が結成した軍事同盟は何と呼ばれるか、最も適切な名称を答えよ。

[4] 下線部(b)に関して、こうした状況に対応すべく設立されたのが国際連合である。この国際連合における組織の中で、国際社会の平和と安全を維持するための主たる責任を負い、制裁等を含む措置の実施を勧告したり決定したりする権限を有している機関は何と呼ばれるか、最も適切な名称を答えよ。

[5] 下線部(c)に関して、これに含まれないものを次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。

- ㉔ インドネシア ㉕ フィリピン ㉖ ブルネイ
㉗ ベトナム ㉘ マレーシア